

令和6年産「つや姫」栽培ごよみ

栽培履歴記入欄
※農薬・肥料は下
表の太枠内に記入

品種名

つや姫

播種日

/

田植開始日

/

田植終了日

/

収穫開始日

/

収穫終了

/

本紙の使い方

1. 「生育段階」を目安に
肥料・農薬の散布をしましょう。
2. 正しく農薬を使用し、栽培履歴
(日にち)を書き込みましょう。

月旬

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月以降

育苗期

活着期

有効分げつ期

無効分げつ

最高分げつ

幼穂形成期

穂ばらみ期

出穂期

登熟期

成熟期

稲の生育と水管理

播種

田植

病虫害防除

収穫

穂肥
1回のみ
幼穂長25mm日前

この時期の水管理によって玄米の品質や充実度が変わるので、出穂後の20日間は水不足にならないように注意しましょう！！

登熟期の間断かん水を収穫期近くまで継続し品質低下を防ぎましょう！！
(早期落水の防止)

間断かん水 中干し 走水 間断かん水 黄熟期に落水(刈取10日前頃)

籾数の多少が決まる大事な水管理有効茎数(18本／株)を確保後7日～

主な作業と注意点

◎健全な苗算づり
◎浸漬温度10℃以下を目安で行う！
◎2週間以上実地を注意！
◎田植え時だけ5月上旬頃
◎N肥E肥W付
◎NN付
◎箱処理剤は6月下旬まで
◎除草剤は7月中旬まで
◎活けやすさ新根の発生を促す！
◎病気発生を促進する！
◎分げつ時期は、早稲の生育を促す！
◎中干しの実施は、無程度で開始発生防止
◎根の健全化、株分け開始
◎穂肥は出穂2週間前(幼穂長2mm)
◎生育をみて適期施肥！
◎仕上揃い防除3日後徹底！
◎穂上げ防除
◎早期に完全落水をしない！
◎適量刈取り率10%の実施
◎適量の乾燥調整を行う！
◎コンタミ防止の徹底！
◎次年度に向けた土づくりの実施

病害虫防除

①タフブロックSP
※他品種の種子と一緒に浸漬しない
※生物殺菌剤※種子消毒済み

③ルーチンブライト箱粒剤
(箱処理剤)
散布日 /

【仕上げ防除】
① 粒剤体系 スタークル粒剤 3kg/10a
液剤体系 スタークル液剤10 1000倍液を60～150ℓ
粉剤体系 スタークル粉剤DL 3kg/10a
省力体系 スタークル豆つぶ 250g～500g/10a
空中散布体系 スタークル液剤10
散布日(1回まで) /

注)記載以外の農薬は使用できません！！
※節減対象農薬の使用(成分)回数合計10回以下
○内の数字は農薬の有効成分使用回数を示す。

除草剤

③ ジェイフレンド
1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ・400FG
(1キロ粒剤田植え同時散布可)
散布日 /
(1回まで)

新規採用
ジェイフレンド
ジェイフレンド
ジェイフレンド
ジェイフレンド

① モゲトン粒剤
散布日 /
(1回まで)

【藻類対策】※発生量が多い場合
モゲトン
モゲトン

② クリンチャー
1キロ粒剤・EW・ジャンボ
バサグラン
粒剤・液剤
クリンチャーバスME
散布日 /
(1回まで)

【後期除草剤】※雑草が残った場合
注)後期除草剤は1回のみ使用可能by

注)記載以外の除草剤は使用できません！！

施肥設計

※化学肥料の窒素分量の合計 4kg/10a以下

【体系施肥】
基肥
NEWだいち
20kg(側条)
25kg(全層)
施用量 kg
施肥日 /

穂肥
げんき2号
20kg
施用量 kg
施肥日 /

【省力施肥】
基肥一発型
OK有機入り一発
50kg(側条)
施用量 kg
施肥日 /

※穂肥は一回のみ(出穂25日前)
※幼穂長2mmを確認し、適期施肥を心がけましょう！！
※一発肥料の注意点
(1)極端な中干しは行わない
(2)比重が軽いので施肥機の調節を行い実際の施肥量を確認すること。

つや姫

◎特別栽培米（減化学肥料・減農薬）基準を遵守しましょう！

し
ま
ね
斐
川
地
区
本
部